

第7回 奈良県動物愛護管理推進協議会 議事要旨

【日 時】平成30年7月18日（水） 14時00分～16時00分

【場 所】県庁5階 第1会議室（小・西）

【出席者】協議会委員 向井 務、伏見 誠、大和 悟、深田 展巧、阪口 佳弘、櫻 眞嘉、
米田 康彦、田中 利亨

奈良県 事務局（奈良県くらし創造部消費・生活安全課）

【議事次第】

会長挨拶

議事

1. 動物愛護推進員の活動状況について（報告）
 - ・活動内容の傾向
 - ・個々の活動事例の紹介
2. 動物愛護推進員への活動支援について
 - ・平成30年度県防災総合訓練への参加について
 - ・自治会等でのペット避難訓練について
 - ・平成30年7月豪雨における避難所の状況について
 - ・啓発資料の作成について
3. 人とペットの災害対策ガイドラインについて
4. 動物愛護推進員の推薦について
5. その他

- 【配付資料】
1. 奈良県動物愛護管理推進協議会設置要綱
 2. 平成29年度 奈良県動物愛護推進員活動実績報告
 3. 平成30年度 奈良県防災総合訓練 参加プラン（案）
 4. 自治会等でのペット避難訓練実施例
 5. 人とペットの災害対策ガイドライン（環境省）
 6. 動物愛護管理推進協議会・動物愛護推進員スケジュール（案）
 7. 奈良県動物愛護推進員設置要綱

【議事要旨】 1. 動物愛護推進員の活動状況について（報告）

- ・活動内容の傾向
- ・個々の活動事例の紹介

2. 動物愛護推進員への活動支援について

- ・平成 30 年度県防災総合訓練への参加について
- ・自治会等でのペット避難訓練について
- ・平成 30 年 7 月豪雨における避難所の状況について
- ・ペットの災害対策啓発資料の作成について

3. 人とペットの災害対策ガイドラインについて

4. 動物愛護推進員の推薦について

5. その他

1. 動物愛護推進員の活動状況について（報告）

- ・活動内容の傾向
(資料 2. の 1 ページ目に基づいて説明。)

- ・個々の活動事例の紹介
(資料 2. の 2 ページ目に基づいて説明。)

2. 動物愛護推進員への活動支援について

- ・平成 30 年度県防災総合訓練への参加について
昨年度に引き続き、獣医師会の防災訓練参加が決定した。
(資料 3. に基づいて説明)。

実施予定内容

- ① 県獣医師会所属獣医師による犬同伴避難のための生活指導
- ② 啓発用パネルなどの展示

- ・自治会等でのペット避難訓練実施例について
(資料 4. に基づいて説明)

・平成 30 年 7 月豪雨における避難所の状況について

① 現地（岡山県）についての状況報告

ペットの受入については、避難所ごとに対応が異なっている。

平常時からの申し合わせがなかったため、避難所運営者が判断を迫られた。

発災から 72 時間過ぎれば外部からの支援も届くが、それまでの人とペットの行き場が必要。

平時からの備えが大切。倉敷市では被災直後のペット用支援物資は、動物愛護センターから提供されていた。

② 奈良県の現状について

県の避難所運営マニュアルにペットについての言及はあるが、具体的な対応方法は明示されていない。

動物愛護センターの備蓄は、センターで通常扱う動物の分のみ。

動物愛護センターで被災者の犬猫を預かることも検討するが、宇陀市まで預けることには抵抗を感じる飼養者が多いと予想される。

（理由：ペットと離れたくない。宇陀市まで運ぶ手段がない、遠い。等）

・ペットの災害対策啓発資料の作成について

意見：ペットの災害対策には平時からの啓発が大切。

避難所運営者の判断の助けとなるような啓発資料が必要。

避難時のペットの取り扱いについて、啓発資料による受入側への周知も必要。

対応：先進自治体の啓発資料を参考に、事務局で避難所運営者向けの啓発資料案を作成する。

作成過程では、協議会委員や関係機関からメール等で意見を聴取する。

3. 人とペットの災害対策ガイドラインについて

（資料 5. について説明）

平成 30 年 3 月に環境省が作成した「人とペットの災害対策ガイドライン」に基づき、今年度中に本県版のガイドラインを作成する予定。

作成過程では、協議会委員や関係機関からメール等で意見を聴取する。

意見：奈良県の状況に応じた、ガイドラインを作成して欲しい。

被災時の「人とペットの災害対策本部」の立ち上げ方法等についても検討すべき。

4. 動物愛護推進員の推薦について
(資料7. に基づいて説明)

意見：人とペットの災害対策を進める上で、動物愛護推進員を増員すべき。

5. その他
今後のスケジュール
(資料6. に基づいて説明)